

2025 年 10 月 29 日

NTT 東日本株式会社 埼玉南支店

高校生が田んぼダム視察での ICT の実機体験を通じ

持続可能な地域づくりを考える

～地域と連携した環境・防災を探究活動～

NTT 東日本株式会社 埼玉南支店（支店長：霜鳥 正隆、以下「NTT 東日本」）は、獨協埼玉高校サイエンス部（5 名+引率教員 1 名）の生徒を対象に、株式会社 JTB 埼玉南支店（支店長：折原 隆夫、以下「JTB」）、越谷市（市長：福田 晃）と連携して市内水田に設置している「田んぼダム」の仕組みや環境モニタリングの方法などの説明を 2025 年 10 月 25 日に実施しました。

越谷市では、気候変動による水害リスクの高まりを背景に、2024 年 7 月から NTT 東日本や農業事業者と連携し「水田ポテンシャル調査」を行っており、水田の雨水貯留機能を活かした水害対策として注目される「田んぼダム」はその一環の取り組みです※1。

JTB は学校・教育機関向けサービスを提供しており、本取り組みは、JTB が獨協埼玉高校に協力を依頼し、同校サイエンス部の研究活動の一環として視察を実施することで実現しました。

この視察を通じて、生徒たちに環境保全や防災の視点から持続可能な地域づくりについて考えてもらうとともに、今後の学校における探究学習のあり方を見つめ直す契機となることを目的としています。

当日は、生徒たちは ICT 機器が設置された実際の圃場で、IoT センサーや通信機器を用いた水位の遠隔監視や、クラウド連携によるデータ活用の仕組みを体験しました。水田が持つ多面的な機能を学びながら、環境・防災・科学の融合について理解を深めました。また、「田んぼダム」は脱炭素にも貢献することから、気候変動や豪雨災害への備えとして注目されるこの視察を通じて、次世代の防災意識と科学的探究心を育むことができました。

※1：<https://www.ntt-east.co.jp/saitama/news/detail/pdf/hp20240723.pdf>

<実際の圃場にて設置された ICT 機器を見ながら説明を聞く生徒たち>





1. 実施概要

日時：2025 年 10 月 25 日（土）14：00～15：00

場所：埼玉県越谷市内「田んぼダム」実証圃場（越谷市 船渡地区内）

参加者：獨協埼玉高等学校 サイエンス部（5 名、引率教員 1 名）

説明者：越谷市 環境経済部 農業振興課職員、NTT 東日本 埼玉南支店社員

2. 視察内容

- ・ 田んぼダム実証の背景、ダムの仕組みの講義
- ・ 水位センサーや LPWA 通信を活用したスマート水管理の仕組みを視察、実機確認
- ・ 実際のスマホアプリを活用し、クラウド連携によるデータの可視化と遠隔監視など環境モニタリングを体験

3. 参加者の感想

- ・ IoT 技術が防災課題の解決にどう活用されているか現場で直接見るのが面白かったです。
- ・ 普段このような視察の機会は少なく、非常に貴重な体験だった。とても興味深く有意義でした。
- ・ 田んぼダムの仕組みに大きな可能性を感じました。今後の展開が楽しみです。

4. 今後について

今回の「田んぼダム」視察を契機として、今後も JTB との協業をさらに推進してまいります。JTB が有する教育機関向けサービスの知見とネットワークを活かし、越谷市との連携を継続しながら、探究学習の場の提供にとどまらず、地域課題の解決や次世代育成に資する多様な取り組みへと発展させていくことを目指します。

5. 本件に関するお問い合わせ先

NTT 東日本 : NTT 東日本 埼玉南支店 ビジネスソリューション部まちづくりコーディネート担当

Tel:048 - 229 - 2461

Mail : minamibi-vc02-ka@east.ntt.co.jp